

事前アンケート結果

おおさかマイボトルパートナーズの活動目的、取組目標、取組内容について、みなさまからいただいたご意見を事務局にて整理しました。

(1) 活動目的について

【事務局案】

2025 大阪・関西万博の開催に向け、各主体が連携してマイボトルユーザーにやさしい街づくりを進め、環境にやさしく、快適なライフスタイルを誰もが実感できる街おおさかを実現する

<1-1> 「誰もが実感できる街・・・」→「**世界中の誰もが実感できる街・・・**」と加えたらいかがでしょうか。

<1-2> **持続可能な社会を実現するための一環としてのマイボトル利用拡大という趣旨**を盛り込んではどうでしょうか。持続可能というワードを用いることでSDGsとの関係性を示し、あらゆる立場の人々の理解・賛同が得られるのではないかと思います。活動内容がどう持続可能なのかという点をより明確にするためには、ごみを削減するための取組みという事が分かるように補足するとより分かりやすくなるかと思います。

<1-3> 「マイボトルユーザーにやさしい街づくり」⇒「マイボトルユーザーにやさしく**水分補給しやすい街づくり**」
※熱中症対策や高齢者への配慮からボトルを忘れても水分補給できる意味合いを入れたほうがよい

<1-4> 「大阪・関西万博の開催に向け」とありますが、**万博終了後のパートナーズの位置づけ**はどうなるか。

(2) 取組目標について

【事務局案】

目標：日常的にマイボトルを携帯する人の割合：30%⇒60% 給水スポットの設置：1,000か所

○目標の設定について

設定した方がよい 13 設定しない方がよい 1

<2-1> 取組を進めるにあたっては、目標を設定した方がよいと考えますが、**事務局（案）の目標は、パートナーズ参画団体だけの達成は難しく、府域の自治体等が一体となった取組を進める必要があることから、パートナーズの目標としては適切ではないと考えます。**また、行政の立場からすると、参画自治体だけで、目標の達成の責任を負うことになる懸念があります。仮に、**目標を設定するのであれば、パートナーズとしての取組の成果が反映できるような目標設定の検討**をお願いします。

<2-2> 各主体が連携して活動目的に向けて取り組んでいくためにも、**進捗管理のできる指標は必要**と考える。

○日常的にマイボトルを携帯する人の割合について

<2-3> マイボトル携帯普及率についての**設定目標値については妥当**だと思います。

<2-4> 日常的なマイボトル携帯率の向上に関して、60%目標が妥当か否か、**他の行政と比較してどうなのか**（公表している行政があればですが）を検証の上設定するのが望ましいと思います。

<2-5> 「携帯率」の向上を目標にするだけでは習慣化されないため、「**携帯し、日常的に使用している**」層を増やすための**目標設定**にしなければいけないと思います。

<2-6> マイボトル携帯率は、季節により大きく異なるので、**夏季に限定したほうがよい**。いずれにしても特定のサンプル内の数値なので**府民全体を調査したわけではないことを明記**すべき。

○給水スポットの設置について

<2-7> 給水スポットの設置数 1,000 スポットに関しても、無料の水が提供できるウォータースタンド様、OSGコーポレーションが**すでに公共施設等に何ヶ所設置されているか、有料でコーヒー、お茶を提供いただけるスポットが何ヶ所あるか確認した後の設定が望ましい**と思います。

<2-8> 当団体実施の天神祭ごみゼロ大作戦における仮設給水ステーション（2019.7.24-25、計 855 人）では、マイボトルで給水したのは 18%（うち多くがボランティアスタッフのレポート利用なので、一般来場者はもっと少ない）。**ボトルを持たない人への給水対策として直飲み型の重要性を確認**した。

<2-9> 協力店舗の目標数として 1,000 店舗は現実的ではあるが、**給水スポット数としては不十分**。公共施設や鉄道駅等の冷水機等の目標数（例えば現在数に対し + 50%）も設定し、**トータルで数千カ所をめざすべきではないか**（店舗給水はあくまでも公共インフラの補完）。

<2-10> 公共施設については、（会議での発言は、W 社の無償提供台数と推測するが）**浄水器よりも高度浄水処理水をおいしく飲める冷水機（飲み口型、ボトル給水型）を念頭に設定することが妥当**と考える。

参考：東京都水道局の給水スポットマップ <https://tokyo.smilebottle.jp/dsmap.html>

<2-11> 府民を対象とした「マイボトル利用に関する実態調査」と平行して、**給水スポット設置施設におけるペットボトルごみの減量調査**を実施できると、**取組みの効果をより検証しやすくなる**と思います。

○その他の取組目標案について

<2-12> ペットボトル削減を目標とする以上、その**削減の割合か本数を掲示すべき**と考えます。そのためにも、マイボトル携帯率とペットボトル削減率の関係性を導き出す必要があります。そのあたりを大学等の研究機関へお願いできないでしょうか？

<2-13> 具体的な数値目標で表現しづらいですが、**府民の環境に対する理解度を向上できたか**についても、この取り組みを行う意義（府民に気付きを与えて、実行に移してもらう）を考慮すると、目標として設定できれば

いいかと思いました。

<2-14> KPI : 目的はペットボトルの不法投棄もあると思うので、現状の不法投棄（どこかの海岸や公園など）1年ごとの**不法投棄率の改善**（例 2020年 5000本、2021年 3000本、2025年 0本）上記の様なKPIを設けると、飲料メーカー、スーパー等の小売業、観光地などもこの運動に参加しやすいのではないかと。

（3）取組内容について

【啓発関係】

<3-1> 海外の方々や、**各種イベントのノベルティとして、ボトルを積極的に配る**のはいかがでしょうか？

また、ゴミが一度に大量発生するイベントをあらかじめピックアップし、それら**イベントでペットボトルゴミをゼロに抑え込む手法を集中投入**するのは必要と考えます。

<3-2> また、マイボトルのファッション化は利用拡大には効果的かと思いますが、より生活に根差した利便性のあるものとするためには、ボトルメーカー様のご協力のもと、**様々なタイプのボトルの便利な使い分け等を広報**することも効果的かと思います。

<3-3> 啓発内容の中に、**プラスチックごみ減量の取組みによって得られる成果を具体的に盛り込む**と良いのではないかと思います。以下がその具体案です。

・回収・リサイクル・処理等にかかる**コストの削減**など ・埋め立てされる総量の削減率

また、**海洋プラスチックごみ・マイクロプラスチック問題の解説**も盛り込むことで、自身の日常的な行動が世界的な課題の解決につながることを理解を広められると、より効果的な取組みになると思います。

<3-4> 目標を達成する為に、**当団体自体の発足と活動の意義を、府内に広報**いただけるようお願いしたい。

調査自体が啓発活動になっているとも思われるので、**ある程度実施回数を増やす**ことも一つでは？また、会議内でもご意見としてあったが、データを府内の地域別にまとめることで、関心が高まるのでは？

【情報発信（アプリ等の活用）】

<3-5> 準備会議での意見交換であった**環境スコアを可視化するアプリ**を活用して、**マイボトル利用者が日々の利用で環境配慮を可視化し、各自が意識確認**できることで使い捨てプラスチックの削減機運が高まる効果が得られると、新たな展開も可能になると思われる。

【パートナーズ関係】

<3-6> かなり将来的な話で恐縮ですが、**現在の取組みを観光地だけでなくインフラ化**するために、**コンビニや小売店（スーパー等の流通）も巻き込み**たいと考えています。様々な業界とタッグを組み、タッチポイントを増やしていくことで、世間の注目を集め（ニュース化・話題化し）、府民の気付きに昇華させていきたいです。

以上